



自分たちの遊ぶ場所は、自分たちで守ろう

「ウインターリゾート2008」開催レポート



1



2



3



4



5

地球環境基金関連のチャリティーイベント

(社)山形市観光協会:じゃんけん大会 (社)信州・長野県観光協会:キャラクター「わんだるま」と記念撮影

蓼科・白樺湖スキーエリア:チャリティー抽選会

魚沼市観光協会:奥只見スキー場による抽選会ゴールドピークスプロジェクト:スキークロスのTVゲームのトーナメント

冬のレジャー情報を提供する場として、毎年11月に池袋サンシャインシティで開催される「ウインターリゾート」。全国のスキー場が多数出展するため、首都圏を中心に毎回4〜5万人のスキーファンが訪れるイベントとして好評です。

第15回目に当たる今回の「ウインターリゾート2008」のメインテーマは「環境」。昨今の暖冬による雪不足で、スキー場は大きな打撃を受けています。そこで「自分たちの遊び場は自分たちで守ろう」を合言葉に、地球温暖化問題などの環境問題への理解を深めてもらおうと、さまざまな環境体験・学習の機会が提供されました。

- 特設の「雪遊び広場」での降雪ショーに子どもたちは大興奮！未来のスキーヤーとして雪の魅力を体感しました（写真1）。
- 日常生活の中で実践できる「エコ」を学べるエコスタンプラリー。全てのスタンプがそろうと、抽選でリフト券や宿泊券などの豪華商品が当たる企画が好評でした（写真2）。
- 環境シンポジウムでは、貴重な環境・観光資源である「雪」や「自然」を守ることが、スキー場や地域の活性化にもつながることが再確認されました（写真3）。
- 今回は地球環境基金もブース出展。パネル展示や広報グッズの配布を通じて、環境保全の重要性を呼びかけました（写真4）。
- また、多くのスキー場出展ブースで地球環境基金の募金箱を設置していただいたほか（写真5）、複数のブースで地球環境基金への寄付を目的としたチャリティーイベント（上表）を実施していただき、総額20万円のご寄付を頂戴しました。ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



スキー場従業員やスキー客などの有志により、雪解け後に「エコファンのゴミ拾い！山彦谷に感謝祭」を実施。これは、常連スキー客の発案で始まった環境保全活動で、2001年から継続して行われています。

ごみ散乱の一因となっていた「使用済みリフト券」を回収し、1枚当たり1円換算で地球環境基金へご寄付いただいています(回収箱として、地球環境基金の募金箱を使っています)。



エコバレースキー場

首都圏から約2時間というロケーションの良さが魅力のひとつ。ゲレンデには多彩なコースが用意され、初心者から上級者、スキーヤー・ボーダーを問わず楽しめる。

所在地：長野県小県郡長和町姫木平

U R L : <http://www.echovalley.co.jp/index.html>



ウィンターリゾート 2008 から発展した 各地スキー場の取り組み

「ウィンターリゾート 2008」へのブース出展をきっかけに地球環境基金へご協力頂いている2つのスキー場の「エコ」な取り組みをご紹介します。



スキー場の休憩室でも地球環境基金の紹介コーナーを設置していただいています。



奥只見湖の顔として人気の大型遊覧船ファンタジア。この遊覧船の運行期間中、船内に地球環境基金の紹介コーナーを設置していただき、観光客の環境保全意識を高めるとともに、募金活動にもご協力いただいています。



奥只見丸山スキー場

奥只見は一年の半分を雪に覆われ、11月下旬～1月上旬の初滑りと、3月下旬～5月中旬の春スキーの2つのシーズンを楽しめるのが特徴。春スキーは特に人気が高い。

所在地：新潟県魚沼市湯之谷茅川字大鳥

U R L : <http://www.okutadami.co.jp/ski/index.html>

